



# 布施だより

## 《 言葉をやりとりする力 ～つぶやく・検討する～ 》

9月初め、2クラスでの英語と技術・家庭科の授業を参観しました。

『虫食いペーパー』で音読練習をすることを通して、どの英文も音読することができる。」を主眼に授業が展開されていきます。「虫食いペーパー」は英語科の共通教材としても活用しながら、実のあるワークシートとして生徒に定着しています。地道で段階を踏んだ追究が進んでいきます。そして、そこから「Word catchball」が始まります。BGMが流れる中、生徒達は安心して英語で catchball を始めます。言語習得のパターンが定着していて、学習する意味を生徒自身がとらえ、安心して追究がなされていきました。



また、もう一つの授業は「宝物探しのインタビュー活動する場面で、ペアやグループの友達と支え合ったり、ポイントゲットすることを目標にしたりすることを通して、友達と積極的に Where is を使って宝物のありかを尋ねたり、in/on/under/by などの前置詞に注意したりしながら、そのありかを答えることができる。」を主題としていました。導入で「Speed Reading」がペア学習で入ります。「何回読めた?」「すごい16回」・・・男女のペアがしっかりと関わりながら、追究を重ねていきます。次の暗唱(翻訳読み)に入っても、拍手が聞こえてきたり、笑顔がのぞいたり、生き生きと進んでいきます。



用意されたイラストの Ball が in し、on し、by したりする度に、「ありえね〜」「浮いてるよ〜」とつぶやきがどんどん出てきます。段階を踏んだ small Step が位置付いているから、見通しが持て、柱となる言語活動に自信を持ってまっすぐに向かえます。

家庭科では「行動にあった衣服を選び、その働きや疑問に思ったことについて話し合うことを通して、衣服の保健、生活、社会生活上の働きを理解することができる。」を主眼に行われました。

グループ追究では、場面や機能に合った衣服が選択できるよう、たくさんのユニフォームやカジュアルな服装が用意され、追究の選択が保障されています。そしてグループで選択してコーディネートした作品が、すぐにプロジェクターで生徒に提示され、視覚的な検討を可能にし、納得を得ていくこととなります。準備と段取りが、追究を活性化させた1時間でした。



## 《 スポーツ活動に、秋の文化活動に、 収穫の時です！ 》

- |           |   |          |
|-----------|---|----------|
| ＜陸上競技部＞   | 北信陸上競技選手権 男子 4×100 ㊦R 第2位<br>(仙田勇人、伊東嵩矢、戸谷泰生、土屋優輝 くん) | 9月7日(日)  |
| ＜水泳部＞     | 県新人大会 2年男子 100 ㊦平泳ぎ 第3位<br>(小林大真 くん)                  | 9月7日(日)  |
| ＜ソフトボール部＞ | 市新人大会 優勝  | 9月14日(日) |
| ＜作文＞      | 青少年健全育成コンクール 優秀賞「伝えたい言葉」<br>(山岸思実 さん)                 |          |



## 《 「活用方法選択型教員配置事業」について 》

長野県では～学校ごとの様々な教育課題に柔軟に対応できるよう、各小中学校や市町村教育委員会の判断で活用方法を選択できる教員配置を行うことにより、児童生徒一人ひとりに応じたきめ細かい支援・指導を行い、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る～を事業目的に、今年度も「活用方法選択型教員配置事業（こまやか教育プラン）」を行っています。これは生徒ひとりひとりの能力や個性に応じた教育を充実させるための、県独自の教職員配置（教員の加配）です。

本校ではこの事業に伴って次のような教員加配が行われています。

- |                  |   |
|------------------|---|
| ＜30人規模学級編成に伴う加配＞ | 学級児童数が35人を超える学年に教員を一人配置。本校では各学年一人ずつ、計3名の加配措置がとられています。             |
| ＜不登校生徒支援に伴う加配＞   | 不登校生徒に対応するための配置。本校では校内中間教室を設置し、家庭と学校とのつながりを講じるため、1名の加配措置がとられています。 |

これらの加配措置がとられることにより、全ての学年で1学級35少人数での学習が可能となり、適正人数での教科学習や学級活動が保障され、一人一人の生徒に寄り添いながら指導をしていくこととなります。また、様々な特性を備える成長途上である生徒達と保護者の皆様の声や要望に応えることができます。

こうした事業の教員加配により、きめ細やかな学習・生活指導が可能になり、生徒たちが生き生

きと学校生活を送ることにつながっているのです。

この事業を行うにあたって、県全体では47億5,320万円の予算措置が講じられています。

(「活用方法選択型教員配置事業」とは別に「特別加配」として<学力定着・向上に伴う加配1名><理科指導時数増に伴う加配1名><日本語指導に伴う加配1名>の措置が、本校に於いて講じられています。)

## 《 「スタンドグラス点灯式」 658のSTORIES ～光り輝く永遠の思い出を～ 》

「第49回銀河祭」の生徒会企画として、今年も生徒玄関に「スタンドグラス」が飾られます。夏休み中から準備を重ねてきてくれ、休み明け放課後の時間を活用して、全校生徒が制作してきた力作です。

その「スタンドグラスの点灯式」がこの週末に予定されています。学年通信で注意をお願いしておりますが、再度ご確認いただき、素晴らしい時が共有できるようご協力ください。

多くの保護者の皆様のご来校をお待ちしております。



期日：9月19日（金） 18:00～18:15 \*完全下校 18:30

場所：篠ノ井西中学校 生徒玄関

注意①：3年生や部活に入っていない生徒は、一度帰宅してから、再度登校することになります。その時は、登校時と同様に、学校指定のジャージまたは制服で来てください。自転車である場合は、ヘルメット着用で来てください。なお、それ以外の服装できた場合は、帰宅してもらいます。

注意②：西側の出入口ですが、北側入口を自動車の出入口、南側入口を自転車・徒歩用の出入口とします。車で来校の方は、北側入口からお入りになり、西体北側へ駐車ください。事故防止のためにもご協力をお願いします。

～  
秋の詩をどうぞ・・・

～ ある日 ある時 黒田三郎 ～

秋の空が青く美しいという／ただそれだけで／  
何かしらいいことがありそうな気がする／そんな時はないか  
空高く噴き上げては／おなしく地に落ちる噴水の水も  
わびしく梢をはなれる一枚の落葉さえ  
何かしら喜びに踊っているように見える  
そんな時が

